

月刊 動労千葉

動労千葉結成10周年!

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

89・10・27 No. 3100

第十一回

秋の飛翔 曲の祭典 六 結核 団

10周年記念

動労千葉十周年記念行事のスペシャルイベントである、動労千葉第十一回団結祭典の時期がいよいよ目前に迫りました。JR当局は「4・1分割・民営化」から二年半を過ぎた今日、「官製サークル」を組織破壊の最大の武器として活用し、あるところでは諸経費の大半を持って飲ませ食わせ、ある場所では言葉巧みに近づき差別意識を根づかせ、又ある地域では

強引な手段で嫌がる労働者をJR総連と一体となつて、「一企業一組合」路線へと引きつり込もうと画策しています。強権的労務管理と懐柔的労務政策は、表裏一体であることを再度認識しなければならぬのです。こうした状況であるからこそ、「自前のサークル活動」の重要さは、従来よりも増して大きいと言えます。そして今秋決戦の最大の環である清算



新たなる10年へRUN



飛ぶがごとく!

事業団闘争が、こうした時代を切り拓く突破口となることはまちがいのない事実であり、その勝利へ向けた進撃—ストライキ体制構築のためにも、団結祭典の成功は決定的な意味を持っています。労働運動を語る時空は今や動労千葉を中心として廻り始めているのです。組合員・家族・OB揃つて、団結祭典の一日を、快い汗を流し、共に楽しむものではありませんか! みんなで集おう団結祭典へ!



腕をきかせろ!

とき 11・3 9時

ところ 旧千葉鉄道学園

走る走る俺達

動労千葉10年の軌跡—労働者の鼓動が聞こえる

全組合員が血を流し、涙を流し、そして勝利した10年!